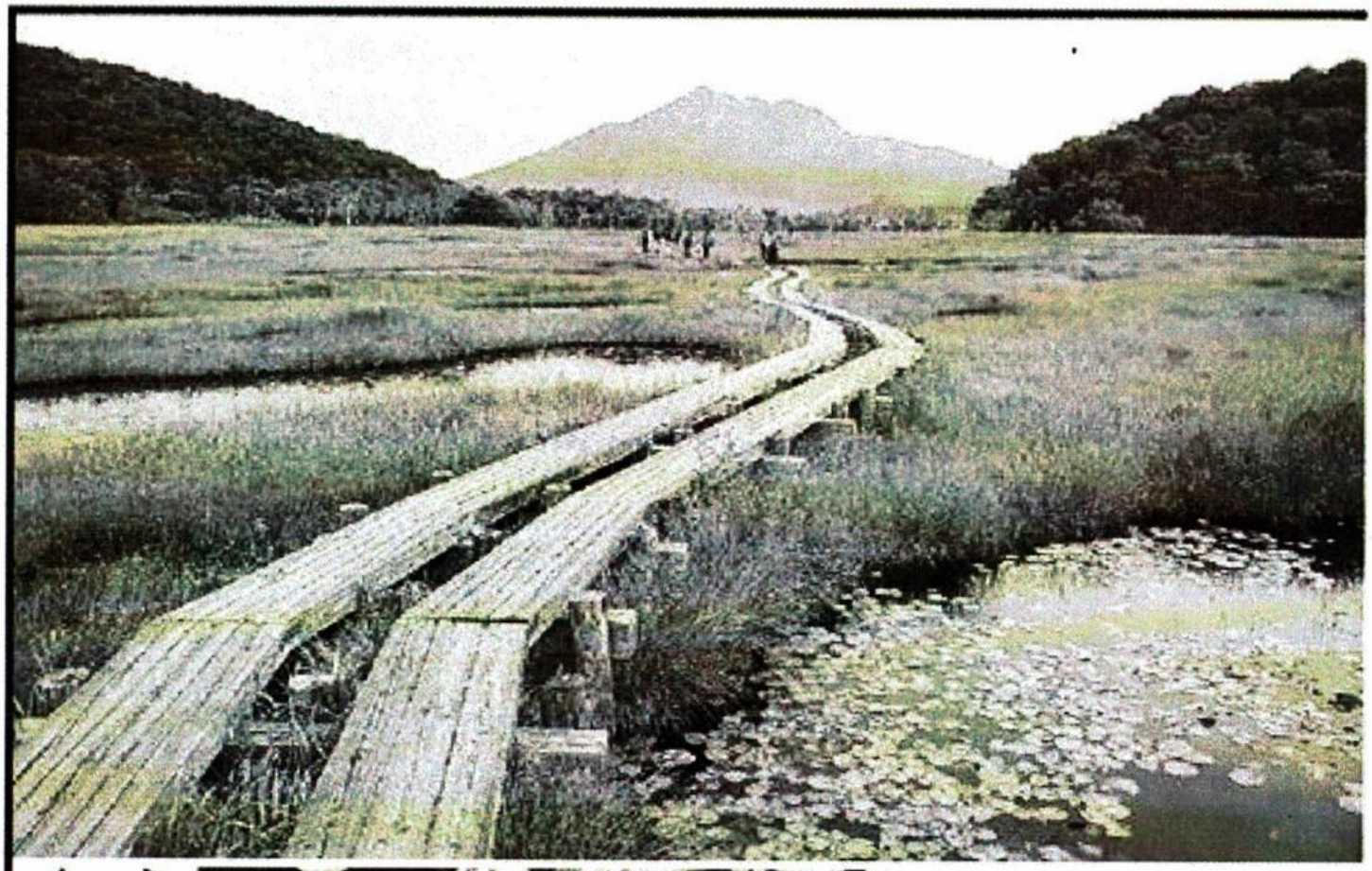

▶尾瀬ケ原に点在する池塘のヒツジグサも色づいた
▲草紅葉に染まる尾瀬ケ原

尾瀬 草紅葉 変わらぬ秋

群馬、福島、新潟の県境に広がる尾瀬ケ原で、湿原を黄金色に染める草紅葉（くさもみじ）が見頃を迎え、多くのハイカーを楽しませている。

標高約1400㍍にある湿原ではヌマガヤは明るい茶色に、キンコウカはオレンジ色へと変わり、湿原に点在する池塘（ちとう）のヒツジグサも色づいていた。

今季はコロナ禍の影響で入山自粛が続いたり、一部の山小屋が休業したりと異例のシーズンとなったが、最近は大勢のハイカーが訪れるようになっている。

尾瀬保護解説ガイドの杉原勇逸さん(69)は「植物はいつも通りに花を咲かせ、実をつけ、1年の終わりを迎えようとしている。変わらぬ姿を見て気持ちが穏やかになる」と話した。

（張春穎）